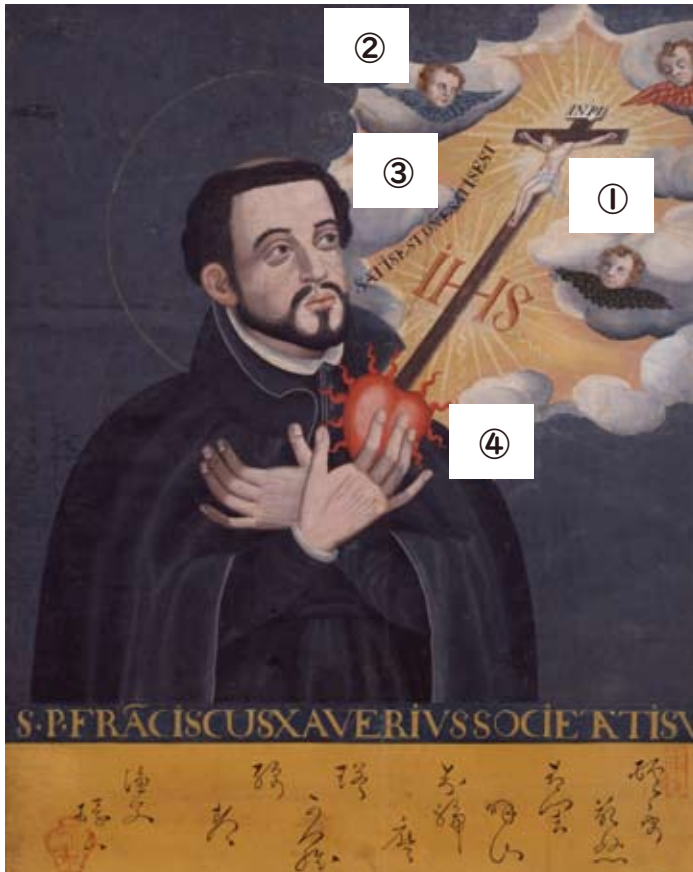




せい 聖フランシスコ・ザビエル像 ぞう

Q 1. 次の文章の () をうめてみよう。

聖フランシスコ・ザビエルは、カトリックの修道会派のひとつ (イエズス) 会の創設者のひとりであり、アジアでの宣教活動を展開し、(1549) 年に日本への到達を果たした。こうして、日本にキリスト教が伝わった。17世紀にキリスト教が禁止される直前には、(キリシタン) とよばれる信者は全国で30万人を超えるほどになったといわれる。



年 組 番

Q 2. 聖フランシスコ・ザビエル像を観察しよう。

(問題番号は絵の中の番号に対応しています。)

① この人物はだれだろう？また、どんなふうになっているだろう？

イエス・キリスト 十字架にはりつけにされている

② 周りを飛んでいるのは何だろう？

天使 (神様の愛をあらわすシンボル)

③ ザビエルは何と言っているのだろう？

また、その意味を考えてみよう。

充分です、主よ、充分です。

「私は神様の愛を十分に授かりました」という意味。

④ ザビエルの手にあるものは何だろう？

また、その意味を考えてみよう。

燃える心臓

「神様の愛を受けて激しく鼓動している」様子をあらわしている。

【③・④の解説】

ザビエルは教会の庭で祈っている際に、瞑想の中で神の愛にふれて意識を完全に失いました。その後、彼が我に返ると、熱くはれ上がった胸から上着を開いて、何度も③の言葉を、かなり強い口調でくり返したとのこと。

(ふりかえり)

聖フランシスコ・ザビエル像は重要文化財に指定されている。

実際に見学して「すごい！」と思ったことを自由に書いてみよう！

江戸時代に入ると、キリスト教は禁止されてしまったので、みんな処分してしまったんだ。今の時代に残っているものは大変価値がある資料なんだよ。